

4．計画に係る施策の基本方針

4－1 計画に係る地域の整備計画

4－1－1 テーマに対応する主要な施策の設定

農村振興基本計画の各テーマに基づき、本市の主要な施策を設定します。

（１）【人を育む視点】： 人材育成、安全で生きがいの持てる環境の構築

表 4.1.1-1 施策の設定

施 策	項 目	自然 環境	社会 環境	生産 環境
① 子育て・学校教育・生涯学習環境の充実	・ 地域活動の拠点整備		○	
	・ 学校施設整備		○	
	・ 生涯活動基盤整備		○	
② 安全・安心な暮らしの確保	・ 防災対策整備の充実		○	
	・ 社会福祉施設と体制の充実		○	
	・ 道路交通網の整備		○	
	・ 自主防災組織への支援拡大		○	
③ 地域文化の継承	・ 地域文化伝承の拠点施設整備		○	
	・ 歴史文化資産の地域管理体制の構築		○	
④ 新規就農者の確保及び育成	・ 技術的支援と給付金等による支援		○	○
⑤ 中山間地域への支援	・ 中山間地域等直接支払制度の有効利用		○	○

（２）【緑を継承する視点】：自然環境保全と農業の継承

表 4.1.1-2 施策の設定

施 策	項 目	自然 環境	社会 環境	生産 環境
① 農地流動化の推進	・ 担い手への農地集積			○
	・ 集落営農の広域化			○
	・ 都市計画道路の早期着工			○
② ほ場整備などの推進	・ 農業経営の近代化と安定化			○
	・ 農業生産の体質強化			○
③ 水源地域の機能保全	・ 未改修ため池の整備			○
	・ 農業水利施設の適切な維持管理			○
④ 農業・農村の多面的機能の維持	・ 多面的機能を支える共同活動の支援		○	○
⑤ 耕作放棄地の再生	・ 耕作放棄地の解消に取り組む生産者の支援			○
	・ 鳥獣被害の抑制			○
⑥ 生態系の保全	・ 貴重な動植物の保全	○		
	・ 環境教育の推進		○	
	・ 外来種の駆除	○		
	・ 地区内に水と緑のネットワークを構築		○	

(3) 【食材天国を目指す視点】：産地形成、食と農が近い地域づくり

表 4.1.1-3 施策の設定

施 策	項 目	自然 環境	社会 環境	生産 環境
① 担い手農家の経営安定化支援	・ 機械・施設整備の支援			○
	・ 経営規模の拡大への支援			○
② 農業革新都市の発展	・ 加工用野菜の産地化			○
	・ マーケットインの仕組みづくりへの支援		○	
③ 振興作物の栽培推進	・ 高付加価値型農業の導入			○
④ 地産地消の推進	・ 食育の推進		○	
	・ 広域ネットワークによる情報交換		○	
⑤ グリーン・ツーリズムの推進	・ 観光ネットワークの構築		○	
⑥ 消費者と生産者の交流推進	・ 産地と消費者を結ぶ新たな流通・販売の拡大		○	

(4) 【水の郷を築く視点】：豊かで美しい水の郷の構築

表 4.1.1-4 施策の設定

施 策	項 目	自然 環境	社会 環境	生産 環境
① 水辺環境の確保	・ 地域用水の確保	○		
	・ 地域に密着した水辺環境施設の整備		○	
② 水源の涵養	・ 既存基幹的水利施設の長寿命化		○	
	・ 里地・里山保全、地域木材利用促進	○		
③ 水質の保全	・ 生活排水処理率の向上		○	

4－2 推進プログラム

将来像・テーマ・施策を受けた、事業メニュー・推進プログラムを示します。

表 4.2-1 将来像・テーマ・施策 (1/2)

地域の将来像			
人と緑を育む 食と水の郷 西条			
～快適環境と農業改革の実現に向けて～			
農 村 振 興 の テ ー マ	人 を 育 む 視 点	◆人材育成、安全で生きがいの持てる環境の構築◆	
		施 策	目 標 (●：重点目標、○：その他の目標)
		① 子育て・学校教育・生涯学習環境の充実 ・地域活動の拠点整備 ・学校施設整備 ・生涯活動基盤整備	○ 地域子育て支援センター 5 箇所 → 10 箇所
		② 安全・安心な暮らしの確保 ・防災対策整備の充実、 ・社会福祉施設と体制の充実 ・道路交通網の整備 ・自主防災組織への支援拡大	○ 市道改良率 34.8 % → 69.8 % ○ 自主防災組織の組織率 83.5 % → 100.0 %
		③ 地域文化の継承 ・地域文化伝承の拠点施設整備 ・歴史文化資産の地域管理体制の構築	○ 指定文化財 174 件 → 180 件
		④ 新規就農者の確保及び育成 ・技術的支援と給付金等による支援	● 農業就業人口 3,825 人 → 3,825 人
		⑤ 中山間地域への支援 ・中山間地域等直接支払制度の有効利用	● 直接支払制度組織数 17 組織 → 18 組織
	緑 を 継 承 す る 視 点	◆自然環境保全と農業の継承◆	
		施 策	目 標 (●：重点目標、○：その他の目標)
		① 農地流動化の推進 ・担い手への農地集積 ・集落営農の広域化	● 担い手への農地集積率 37.8 % → 45.0 % ○ 認定農業者 556 人 → 590 人 ○ 集落営農組織数 16 集落 → 21 集落
		② ほ場整備などの推進 ・農業経営の近代化と安定化 ・農業生産の体質強化	● ほ場整備率 32.4 % → 36.1 %
		③ 水源地域の機能保全 ・未改修ため池の整備 ・農業水利施設の適切な維持管理	● ため池整備率 13.8 % → 25.5 %
④ 農業・農村の多面的機能の維持 ・多面的機能を支える共同活動の支援		● 多面的機能支払 対象面積 3,457 ha → 3,500 ha	
⑤ 耕作放棄地の再生 ・耕作放棄地の解消に取り組む生産者の支援 ・鳥獣被害の抑制		● 耕作放棄地面積 208 ha → 140 ha	
	⑥ 生態系の保全 ・貴重な動植物の保全 ・環境教育の推進、外来種の駆除 ・地区内に水と緑のネットワークを構築		

表 4.2-1 将来像・テーマ・施策（2/2）

地域の将来像			
人と緑を育む、食と水の郷 西条			
～快適環境と農業改革の実現に向けて～			
農村振興のテーマ	食材天国を目指す視点	◆産地形成・食と農が近い地域づくり◆	
		施 策	目 標 (●：重点目標、○：その他の目標)
		① 担い手農家の経営安定化支援 ・機械・施設整備の支援 ・経営規模の拡大への支援	
		② 農業改新都市の発展 ・加工用野菜の産地化 ・マーケットインの仕組みづくりへの支援	○ 加工用野菜の年間延栽培面積 28 ha → 100 ha
		③ 振興作物の栽培推進 ・高付加価値型農業の導入	● 農業生産額 137 億円 → 137 億円
		④ 地産地消の推進 ・食育の推進 ・広域ネットワークによる情報交換	○ 地産地消を活用して新規産業への事業展開支援数 2 件 → 10 件
		⑤ グリーン・ツーリズムの推進 ・観光ネットワークの構築	○ 観光農園 19 施設 → 19 施設
		⑥ 消費者と生産者の交流推進 ・産地と消費者を結ぶ新たな流通・販売の拡大	
	水の郷を築く視点	◆豊かで美しい水の郷の構築◆	
		施 策	目 標 (●：重点目標、○：その他の目標)
		① 水辺環境の確保 ・地域用水の確保 ・地域に密着した水辺環境施設の整備	○ 灌漑期の加茂川地点5m3/s以上の流量確保日数 53 日 → 153 日
		② 水源の涵養 ・既存基幹的水利施設の長寿命化 ・里地・里山保全、地域木材利用促進	○ 水源の森整備事業実施面積(累計) - ha → 380 ha
		③ 水質の保全 ・生活排水処理率の向上	● 生活排水処理率 74.8 % → 87.5 %

4-2 推進プログラム

・テーマ【人を育む視点】の推進プログラム

表 4.2-2 メニュー・プログラム

テーマ	施策 No	事業メニュー				推進プログラム									
		ハート*	ソフト	事業概要	所管府省	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
人を育む視点	①	○		幹線道路の整備	国土交通省・県	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		生活道路の整備	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	公共交通機関の新規開拓	市・民間	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		福祉・医療施設の整備	厚生労働省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		福祉・医療サービスの拡充	厚生労働省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	②		○	自主防災組織の支援強化	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	防災教育の推進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	防災マップの活用	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		地域活動拠点の整備	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	ワークショップの推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	無秩序開発の抑制	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		親水公園等の整備	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	未舗装道路の整備推進	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	不法投棄の防止	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	環境美化活動の推進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	③		○	文化財の保護	文部科学省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	伝統行事・習慣の継承	県・市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	文化的活動への支援	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	④		○	青年就農給付金	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤		○	中山間地域等直接支払制度の有効利用	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

・テーマ【緑を継承する視点】の推進プログラム

テーマ	施策 No	事業メニュー				推進プログラム									
		ハート*	ソフト	事業概要	所管府省	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
緑を継承する視点	①		○	農地中間管理機構による農地集積の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	棚田の保全	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	認定農業者の育成	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	農道・園内道の整備	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	②	○		農用の大区画の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	③	○		農業水利施設の更新整備の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		農業水利施設の機能強化の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		ため池の改修・整備	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		○		水利施設の維持管理	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	④		○	多面的機能支払制度の活用	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤	○		廃棄物処理施設の機能維持	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	再資源化の促進	経済産業省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	耕作放棄地の発生防止・解消	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	鳥獣被害の防止対策の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑥		○	絶滅危惧種等の把握	環境省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	在来種の保護	環境省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

・テーマ【食材天国を目指す視点】の推進プログラム

テーマ	施策 No	事業メニュー				推進プログラム									
		ハート*	ソフト	事業概要	所管府省	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
食材天国を目指す視点	①		○	青年等就農給付金	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	経営体育成支援事業	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	女性農業者の育成	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	農業法人への対策	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	②		○	第六次産業化の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	再生可能エネルギーの導入	経済産業省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	③		○	高付加価値農産物の導入・ブランド化の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	ICT(情報通信技術)農業の導入促進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	新品種・生産技術の開発	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	環境保全型農業の推進	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	④	○		ネットワーク環境の充実	総務省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	食育の促進・食文化の保護継承	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	地産地消・国産農産物の消費拡大の推進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤		○	グリーンツーリズムの推進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑥	○		市民農園の整備	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	コミュニティ組織が利用する基幹的施設の整備促進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	観光ツアーの企画	市・民間	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	外部への情報発信の強化	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	産官学の連携強化	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	NPOや市民活動団体との交流	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	企業進出への支援	総務省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

・テーマ【水の郷を築く視点】の推進プログラム

テーマ	施策 No	事業メニュー				推進プログラム									
		ハート*	ソフト	事業概要	所管府省	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
水の郷を築く視点	①		○	自然環境保護意識の啓発	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	上水道の整備	国土交通省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	雨水利用の促進	市・地域住民	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	②	○		水源地域の涵養機能保全	林野庁	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	淡水化施設の導入検討	市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	③	○		公共下水道の整備	国土交通省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	農業集落排水施設の整備・改修	農林水産省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	合併処理浄化槽の整備・改修	厚生労働省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			○	処理水の有効利用	国土交通省	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

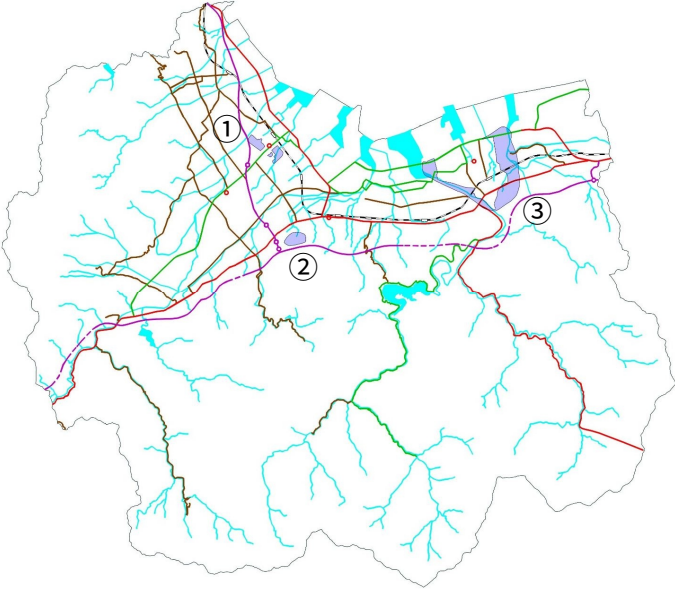
4－3 農村振興計画図

4－3－1 ゾーン別の環境特性

地域の情勢で整理した課題を踏まえ、6つのゾーン別に整備コンセプト、整備の方向などについて整理します。

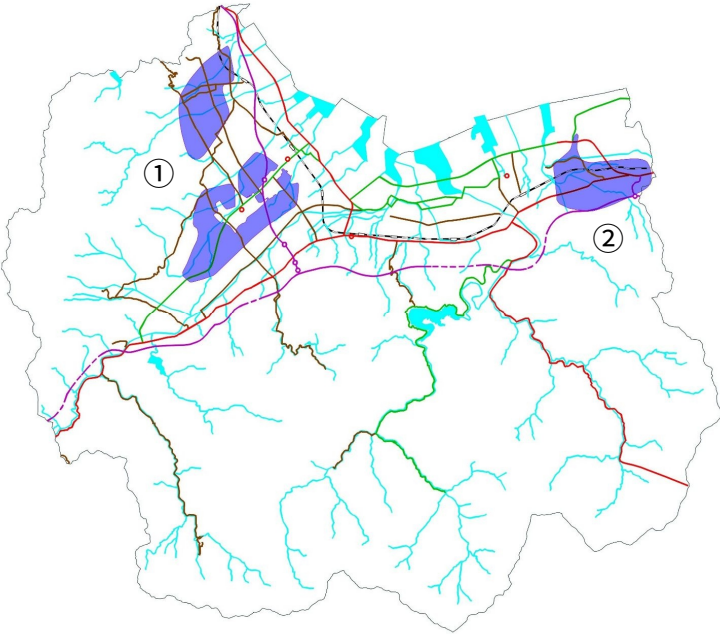
(1) 都市共生ゾーン

表 4.3.1-1 ゾーン別環境特性表

都市共生ゾーン				
				
地域区分		市街地近隣区域		
		①	②	③
		円海寺・周布（北部）	南川（北部）	玉津・明神木・福武甲 ・大町・中西・古川
自然環境	地形	低地平野	傾斜10°前後の扇状地	低地平野
	土壌	灰色低地土壌	黄色土壌	グライ土壌・粗粒灰色低地土壌
	地質	完新統	完新統	完新統
	植生	水田雑草群落	水田雑草群落・常緑果樹園 ・落葉果樹園	水田雑草群落
	流域・河川	大曲川支流大川上流域 ・崩口川中流域	中山川支流大日川 大谷川上流域	渦井川支流界谷川 金剛院谷川流域 加茂川下流域
	生物	代表的な動物：ムクドリ・アブラゼミ・アブラコウモリなど 代表的な植物：園芸種・ミクリ・オオバコなど		
	景観	水田域に宅地がスプロールの に進行	南部に中央公園が位置し緑に囲 まれた景観となっている	水田域に宅地がスプロールの に進行
社会環境	地域資源	東予産業学習館 東予図書館・郷土館	香園寺 中央公園	観音堂のふじ 武丈 西条神社
	生活環境	道路整備が進み農地の宅地化が 進行している	閑静な住宅街が形成されつつあ る	用途区域を中心に教育施設や公園 が整備されている 「うちぬき」の水を利用した生活 環境
生産（農業）環境	農業生産状況	宅地化の進行により、生産 団地の形成は、困難 自家消費型の農業形態	宅地化の進行により、生産 団地の形成は、困難 自家消費型の農業形態	宅地化の進行により、生産 団地の形成は、困難 自家消費型の農業形態

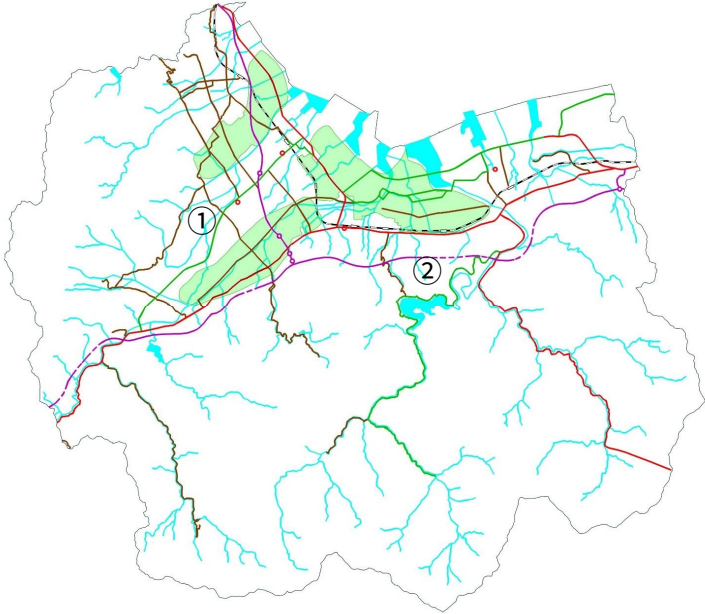
(2) 複合型農業確立ゾーン

表 4.3.1-2 ゾーン別環境特性表

複合型農業確立ゾーン				
				
地域区分		水田・畑緑地区域		水田緑地区域
		①		②
		楠・実報寺・福成寺 旦之上（東部）・上市		飯岡
自然環境	地形	低地平野 傾斜10°前後の丘陵・扇状地 河岸段丘形状		低地平野
	土壌	粗粒グライ土壌・グライ土壌・灰色低地土 壌・細粒灰色低地土壌・粗流灰色低地土 壌・褐色低地土壌・粗粒褐色低地土壌 黄色土壌		粗粒灰色低地土壌・黄色未熟土壌
	地質	完新統・粗流花こう閃緑岩 砂岩がちの砂岩泥岩互層		完新統・砂岩泥岩互層
	植生	水田雑草群落・常緑果樹園		水田雑草群落・畑地雑草群落
	流域・河川	大明神川・北川		渦井川支流室川流域
	生物	代表的な動物：チョウヒ・ヌマガエル・スクミリンゴガイなど 代表的な植物：セイタカアワダチソウ・ブタクサ・オオオナモミなど		
	景観	水田景観 天井川（大明神川）・大明神川沿いの松林 水田営農を中心とした二次的自然景観		水田営農を中心とした二次的自然景観
社会環境	地域資源	実報寺の蘇鉄群		王至森寺 諏訪山古墳
	生活環境	地域内を広域営農団地農道とＪＲが横断し ている		混住化が拡大し、地域コミュニティの希薄 化が心配される
生産（農業）環境	農業生産状況	まとまった農地の確保が可能なほか、畑や 施設栽培など、経営が複合化している		農地の多くは、畑として利用され季節の野 菜を栽培している 施設栽培農家も多い

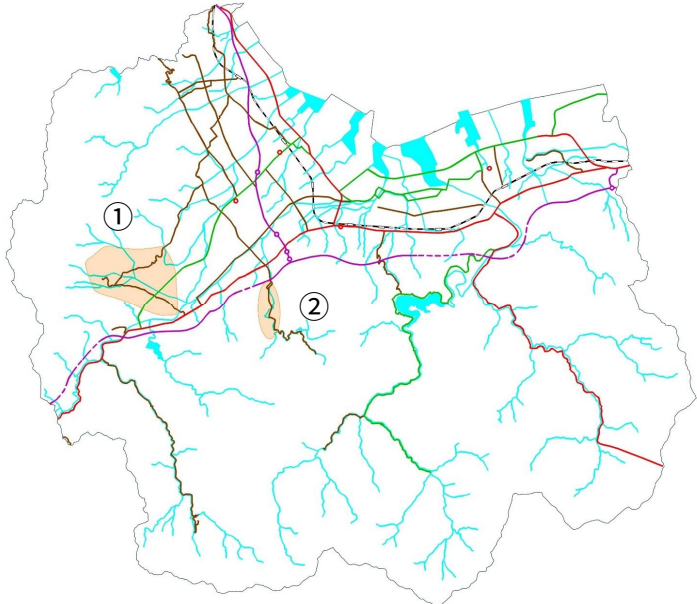
(3) 水田農業確立ゾーン

表 4.3.1-3 ゾーン別環境特性表

水田農業確立ゾーン			
			
地域区分		水田・畑緑地地域	水田緑地地域
		①	②
		上市・河原津新田・三芳・高田・国安 新市・安用・高知・明理川・周布（南部） 願連寺・徳能・古田・久妙寺・高松 吉田・田野上方・北田野・長野・石経 北川・妙口（北部）・大頭・明穂	北条・広江・今在家・氷見（北部） 禎瑞・西泉・西田・安知生
自然環境	地形	低地平野 傾斜10°前後の丘陵・扇状地 河岸段丘形状	低地平野・新田干拓地
	土壌	粗粒グライ土壌・グライ土壌・灰色低地土壌 細粒灰色低地土壌・粗流灰色低地土壌 褐色低地土壌・粗粒褐色低地土壌・黄色土壌	グライ土壌・粗粒グライ土壌
	地質	完新統・粗流花こう閃緑岩 砂岩がちの砂岩泥岩互層	完新統
	植生	水田雑草群落・常緑果樹園	水田雑草群落
	流域・河川	境川・新川・崩口川・新川・中山川 中山川支流妙谷川流域	一ツ橋川・広江川・中山川下流域・前神寺 谷川・中山川支流猪狩川流域
	生物	代表的な動物：チョウヒ・ヌマガエル・スクミリンゴガイなど 代表的な植物：セイタカアワダチソウ・ブタクサ・オオオナモミなど	
	景観	水田景観 天井川（大明神川）・大明神川沿いの松林 水田営農を中心とした二次的自然景観	干拓水田の景観・禎瑞の集落景観
社会環境	地域資源	大慈庵の蘇鉄群・西条市丹原文化会館 法安寺	龍神社 嘉母神社 石岡神社
	生活環境	地域内を今治小松自動車道とＪＲが 横断している	東予有料道路の無料化で交通量 が増えている
生産（農業）環境	農業生産状況	まとまった農地の確保が可能なほか、畑や施設栽 培など、経営が複合化している	大区画の生産効率の高い農地が多い 河川の未改修などにより洪水時の湛水被害 が発生している

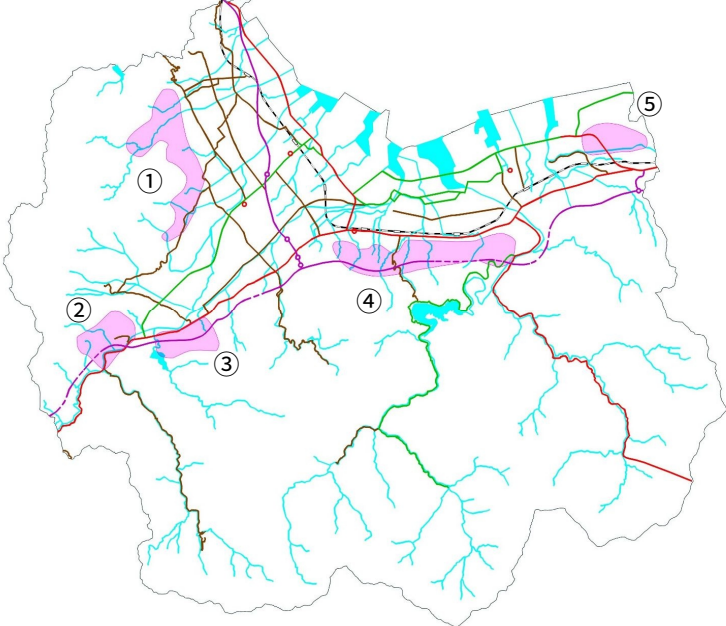
(4) 樹園地農業振興ゾーン

表 4.3.1-4 ゾーン別環境特性表

樹園地農業振興ゾーン				
				
地域区分		樹園地緑地区域		
		①	②	
		田滝・関屋・高松（南部）	大郷	
自然環境	地形	傾斜10°未満の扇状地		傾斜20°前後の丘陵山地
	土壌	褐色森林土壌・粗粒褐色森林土壌		乾性褐色森林土壌・褐色森林土壌
	地質	完新統・砂岩泥岩互層 砂岩がちの砂岩泥岩互層		完新統・砂岩泥岩互層 砂岩がちの砂岩泥岩互層
	植生	常緑果樹園・落葉果樹園		畑地雑草群落・スギ、ヒノキ植林
	流域・河川	中山川支流関屋川流域 新川支流高松川上流域		中山川支流妙谷川上流域
	生物	代表的な動物：アカネズミ・アオダイショウ・アマガエルなど 代表的な植物：スギ・ヒノキ・ムクノキなど		
	景観	愛宕柿を始めとした樹園地景観		山間部の豊かな自然景観と樹園地景観
社会環境	地域資源	市街地を見下ろす美しい眺望 観光農園		
	生活環境	畜産が多く、し尿の異臭が不快となっている		過去の台風による土砂流出で河床が上昇し洪水時の河川氾濫が心配されている
生産（農業）環境	農業生産状況	露地栽培の愛宕柿や花卉の施設栽培が盛んである		柿や梅の栽培が盛んに行われている

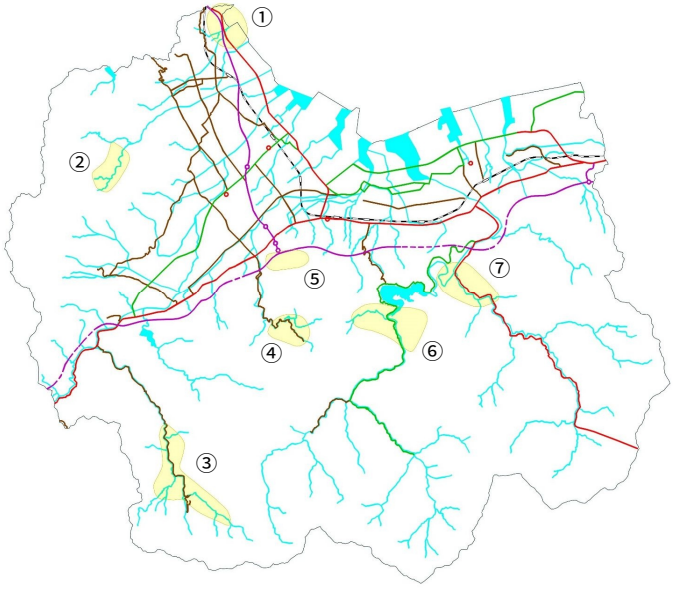
(5) 里地里山環境再生ゾーン

表 4.3.1-5 ゾーン別環境特性表

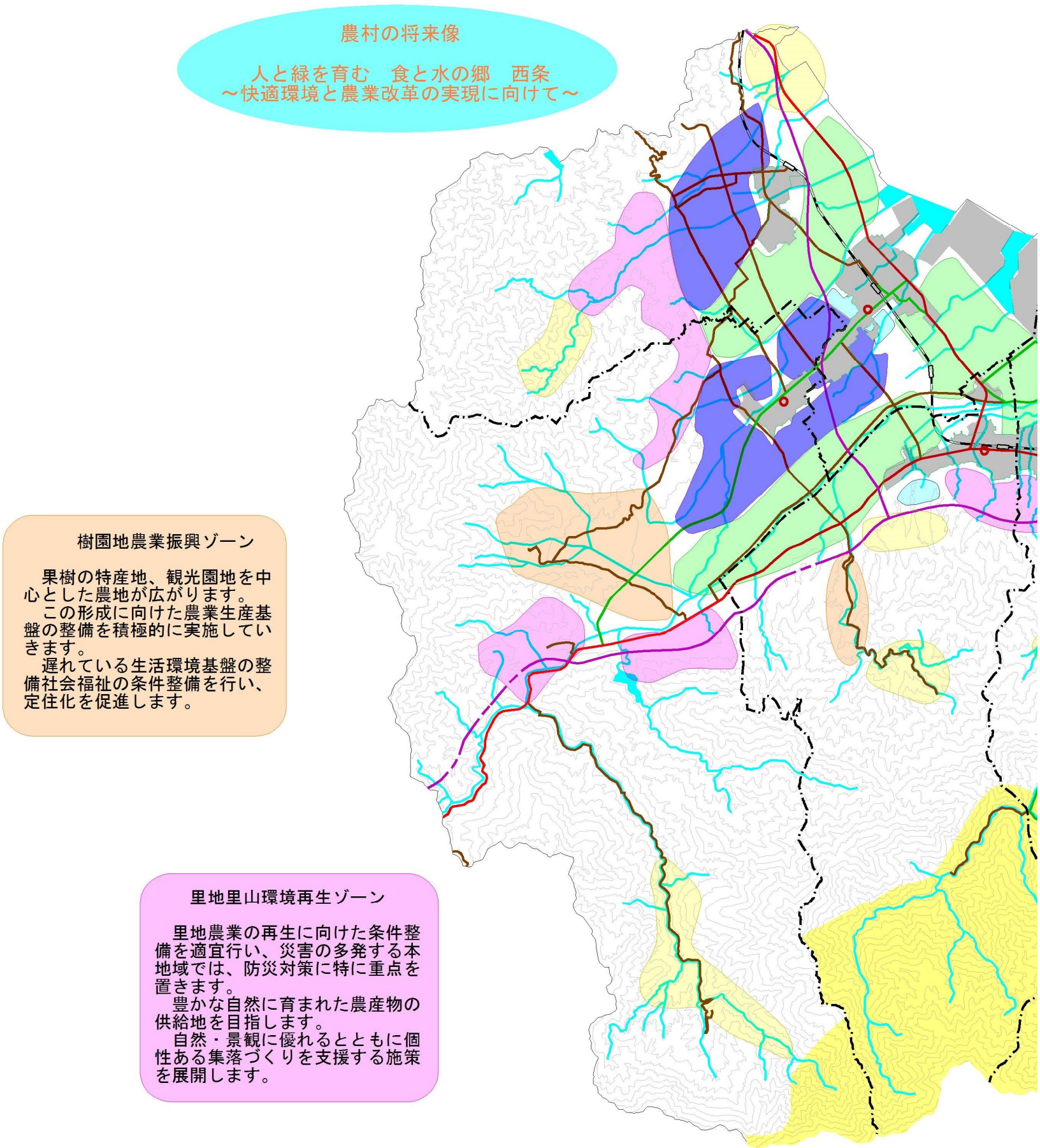
里地里山環境再生ゾーン						
						
地域区分		里山環境区域			里地環境区域	
		①	②	③	④	⑤
		河之内・旦之上（西部）・ 広岡・川根	臼坂	湯谷口・志川・寺尾	新屋敷・氷見（南部）・ 坂元・洲之内	下島山
自然環境	地形	傾斜20°前後の丘陵地	傾斜20°前後の丘陵地	傾斜20°前後の河岸段丘	傾斜10°前後の丘陵地	北部に傾斜20°丘陵山地
	土壌	乾性褐色森林土壌 褐色森林土壌	褐色森林土壌	灰色低地土壌 黄色土壌	乾性褐色森林土壌・褐色 低地土壌	粗粒灰色低地土壌
	地質	粗粒花こう閃緑岩	砂岩泥岩互層	黒色片岩（泥質一部砂質片 岩） 緑色片岩（塩基性片岩）	砂岩泥岩互層	完新統・砂岩泥岩互層
	植生	水田雑草群落・常緑果樹園	水田雑草群落・常緑果樹 園・スギ、ヒノキ植林	水田雑草群落・常緑果樹園	水田雑草群落 常緑果樹園・落葉果樹園	水田雑草群落
	流域・河川	大明神川・北川流域	中山川支流大谷川流域	中山川支流志河川流域	中山川支流猪狩川・払川 向猪狩川流域	渦井川右岸流域
	生物	代表的な動物：アカネズミ・アオダイショウ・アマガエルなど 代表的な植物：スギ・ヒノキ・ムクノキなど				
	景観	棚田や段畑の里山風景	棚田や段畑の里山風景	棚田や段畑の里山風景	棚田や段畑の里山風景	背後に丘陵山地を控えた 水田風景
社会環境	地域資源	西山興隆寺	衝上断層 劈崖透水路 道前溪温泉	志川掘抜隧道	石鎚神社 前神寺 天満神社のくす	ため池群
	生活環境	道路整備は、順次なされて 利便性、快適性が向上して いる	集落機能が低下	集落は、国道11号線以南に 形成されている 集落内は、狭幅道路が多い	歴史・文化施設が多く、 旧道沿いに集落が形成さ れている	集落内の主要道路が一本しか なく、緊急の車両通行等に不 便を来たしている
生産（農業）環境	農業生産状況	棚田や段畑が多く、水稻を 始め、野菜の小規模多品目 栽培が行われている	棚田や段畑が多く、水稻 を始め、野菜の小規模多 品目栽培が行われている	小区画農地が多く、水稻を 始め、野菜の小規模多品目 栽培が行われている	小区画農地が多く、水稻 を始め、野菜の小規模多 品目栽培が行われている	小区画農地が多く、耕作道路 も未整備である。水稻を始 め、野菜の小規模多品目栽培 が行われているが、耕作放棄 地の拡大とともに、鳥獣被害 の増加がみられる

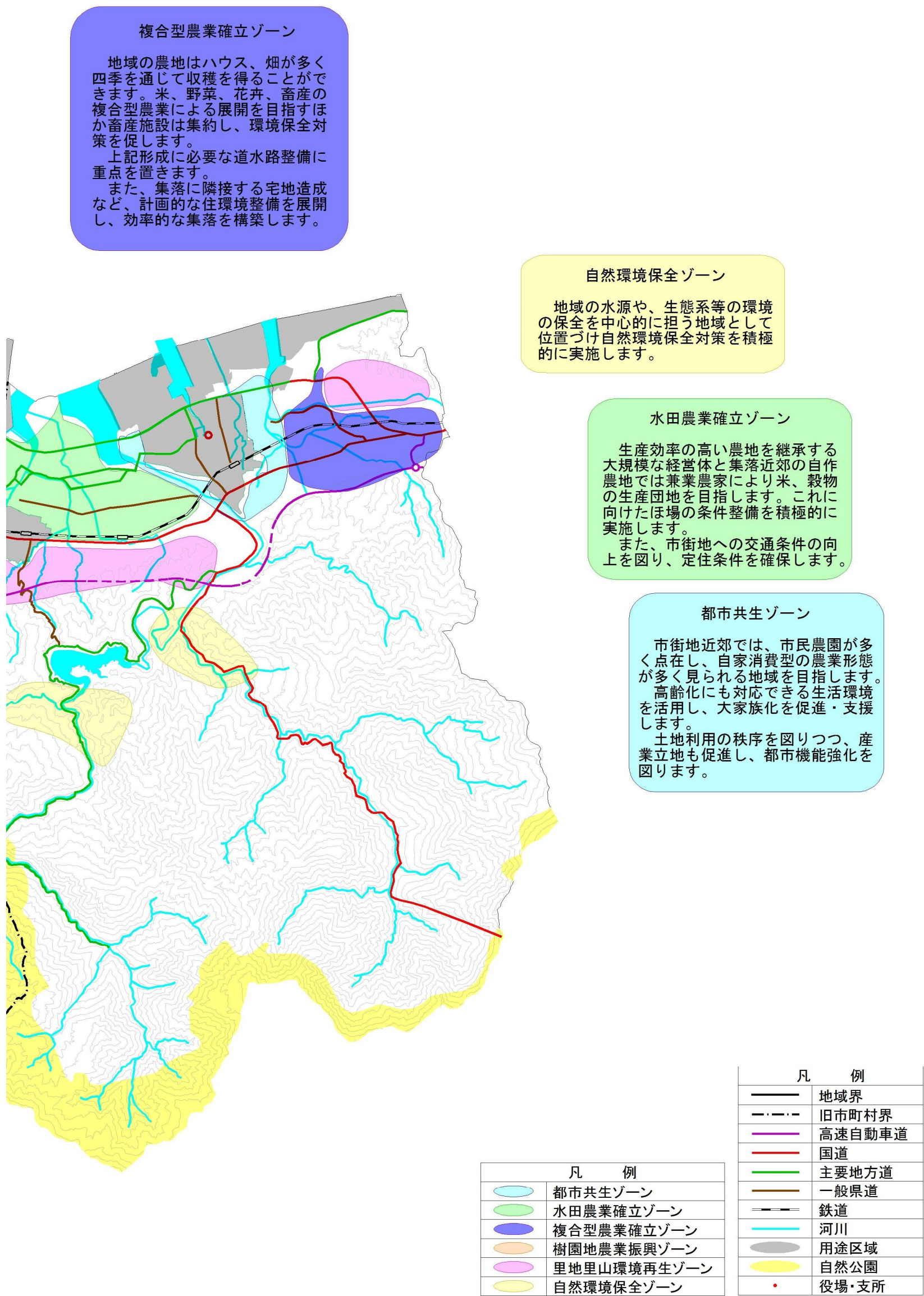
(6) 自然環境保全ゾーン

表 4.3.1-6 ゾーン別環境特性表

自然環境保全ゾーン								
								
地域区分		海岸自然環境区域	里山自然環境区域					
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		河原津	河之内	鞍瀬・明河	石鎚（北部）	妙口・南川	黒瀬	千町
自然環境	地形	丘陵地・砂浜海岸	傾斜20°～30°の丘陵山地	傾斜20°～30°の丘陵山地	傾斜20°前後の丘陵山地	傾斜20°前後の丘陵山地	傾斜20～30°の丘陵山地	傾斜20°前後の丘陵山地
	土壌	粗粒褐色低地土壌 粗粒グライ土壌	褐色森林土壌	褐色森林土壌 湿性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌 褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌 黄色未熟土壌	褐色森林土壌	褐色森林土壌が主体 一部黄色土壌
	地質	完新統	粗粒花こう閃緑岩	緑色片岩（塩基性片岩）・明神層	黒色片岩（泥質、一部砂質片岩）	砂岩泥岩互層	黒色片岩（泥質、一部砂質片岩）・緑色片岩（塩基性片岩）	黒色片岩（泥質、一部砂質片岩）・崖錐性堆積物
	植生	コバノミツバツツジ アカマツ群落 常緑果樹園	スギ、ヒノキ植林	スギ、ヒノキ植林 シイ、カン萌芽林	スギ、ヒノキ植林	スギ、ヒノキ植林 シイ、カン萌芽林	スギ、ヒノキ植林 シイ、カン萌芽林 畑地雑草群落	スギ、ヒノキ植林・水田雑草群落・畑地雑草群落
	流域・河川	北川下流域	大明神川上流域	中山川支流鞍瀬川上流域	中山川支流妙谷川上流域	中山川支流都谷川上流域	加茂川黒瀬ダム上流域	加茂川支流谷川流域
	生物	カブトガニ（絶滅危惧Ⅰ類）を始め多くの甲殻類が生息している	代表的な動物：タヌキ・イノシシ・エナガ・アカネズミ・アオダイショウ・アマガエルなど 代表的な植物：スギ・ヒノキ・ムクノキなど					
社会環境	景観	河原津海岸	棚田・段畑景観 スギ・ヒノキなど人工林の景観	山間部の豊かな自然景観	山間部の豊かな自然景観	ハイウェイオアシス周辺自然景観	黒瀬ダム周辺山間自然景観	千町地区の棚田景観
	地域資源	永納山城跡 カブトガニ繁殖地	本谷温泉		横峯寺	椿温泉こまつ	極楽寺	千町の棚田
生産（農業）環境	生活環境	地域内には、国道196号と今治小松自動車道が並行して通っている	集落機能が低下	集落機能が低下 過疎化	集落機能が低下 洪水時の土砂崩れなどによる道路不通が心配される	石鎚サービスエリア及びハイウェイオアシスへの連絡道が整備されている	集落機能が低下 洪水時の土砂崩れなどによる道路不通が心配される	集落機能が低下 過疎化
	農業生産状況	海岸部では、農地の遊休化が目立っている	農地は、狭小で急傾斜なため、生産団地の形成は困難である	農地は、狭小で急傾斜なため、生産団地の形成は困難である	農地は、狭小で急傾斜なため、生産団地の形成は困難である	農地は、狭小で急傾斜なため、生産団地の形成は困難である	農地は、狭小で急傾斜なため、生産団地の形成は困難である	営々と耕作されてきた棚田がみごとであるが、近年、荒廃農地の拡大から景観が悪化している

西条市 農村振興基本計画
計画構想図





4-3-2 ゾーン別の整備方針

区分	概要・特性	課題	地域農業の方向	農村振興の方向	必要な主な施策	備考
都市共生 ゾーン	市街化地域をとりまき地域は、都市機能の利便性は高いが、一体的な生産団地形成が困難である。	過住化の拡大 農業生産性が低い 集落機能の低下 無秩序開発の拡大	市民農園の拡大により農地を維持 高齢化に対応できる農業を実践 兼業若しくは定年就農者の促進	都市と農村が、農業とのふれあいを通じて、自然環境保全意識の高揚や、農への理解を促進する主なステージとなることによって、周辺に波及する効果が見込まれる。 都市機能・産業活動の強化をバックアップし、計画的な開発を促進。	市民農園整備 住宅用地開発 集落による施設維持管理促進 防災・減災対策 ため池整備 防災・減災対策 湛水防除事業	
複合型農業 確立ゾーン	周辺の交通条件に恵まれ、定住条件が比較的整っている地域では、地域の農業、農地の継承が課題。現状では住居は点状的な開発によって確保されることが多く、この開発を計画的に大規模に実施、条件整備のされたほ場では、複合経営による農業を実践。	無秩序開発の拡大 農家の高齢化、農業後継者の不足 集落機能の低下	複合経営による基幹的農業者を多く 設立。農業用施設の維持管理軽減対策 を加速。	専業農家による複合経営、自家消費の農園経営が主体として地域の農業・農地を継承、地区の目指す食材の郷を支える地域。定住条件を改善し集落年齢層の若返りを図る。	ほ場整備 ストックマネージメント事業 農産物・加工・流通システム改革 ため池改修 集落環境管理施設（家畜糞尿対策整備）	
水田農業 確立ゾーン	生産効率の高い団地形成が可能な本地域では大規模な水田農業が可能な基盤作りを推進する。市街地へのアクセスに恵まれた地域はその機能を十分に活用した定住条件の充実を図る。	農家の高齢化、農業後継者の不足 農業生産基盤の遅れ	大規模な経営体を育成。生産基盤の整備により営農経費の節減、農業用施設の維持管理経費節減対策を加速。	大規模な経営体は集落で運営し、美しい田園環境に囲まれた集落を目指す。集落による農業経営の合理化によって、就業条件を活かして所得が向上される。	ほ場整備 農業用排水路・農道整備 多面的機能支払交付金 干拓地遊水池整備 湛水対策 ストックマネージメント事業	
樹園地農業 振興ゾーン	果樹の特産地、観光農園による集客事業の展開を図り、樹園地農業の振興を図る。教育環境・生活環境の改善を図り、定住条件を整備する。	農家の高齢化、農業後継者の不足 教育・生活環境の遅れ 過疎化	特産開発など新たな樹園地農業の体系整備、観光農園による所得向上。	果樹農家、兼業農家主体の集落形態を持続するためには、主産業の振興と教育・生活環境の充実を併せて図る必要がある。	樹園地再編整備 ストックマネージメント事業 小中学校の再編 集落排水処理施設整備 集落環境管理施設（家畜糞尿対策整備） グリーンツーリズム基盤の整備	
里地里山環境 再生ゾーン	里地・里山の再生と、自然あふれる居住空間を創造し、快適性の高い環境を築く、教育環境・生活環境の改善を図り、定住条件を整備する。 地域ごとに特産品を開発し、個性ある里を構築する。	農家の高齢化、農業後継者の不足 安全なくらしの確保 集落機能の低下 農地の荒廃 過疎化 鳥獣被害の拡大	豊かな自然環境を活かした農作物を供給し、直販施設などと連携して所得向上を図る。豊かな里山の機能に着目しあらたな産業を創出する。地区内で計画的に地域特産を開発する。	自然豊かで、歴史を伝える史跡の多い本地域では、農村文化を広く発進するステージとなり、個性豊かな人材を育成する基盤を構築する。 安全なくらしを確保するとともに、生活環境などを整備し、定住条件を改善する必要がある。	農業用ため池の整備 棚田保全整備 小中学校の再編 集落排水処理施設整備 地域用水環境整備 直販推進 ストックマネージメント事業	
自然環境 保全ゾーン	水源の涵養を促進する活動を促進する。観光・交流を基幹とする産業を振興するとともに、地区内外住民から安らげる居住空間を整備する。	過疎化 山林・農地の荒廃	自然を涵養する山林の再生に関わり 所得要件を確保するとともに、地区内外の住民が安らぎを求めて訪れる空間整備につとめ、グリーンツーリズムを促進し、新たな産業創出を図る。	自然豊かな環境を求めて訪れる都市住民等との交流を通じて産業・地域活性化の柱とする。自然環境保全に重点を置いた施策を集中的に行い支援を図る。	棚田保全整備 グリーンツーリズム基盤の整備 広葉樹保育管理 森林公園整備	

4－4 地域住民の参加の方針

まちづくりを進めていく上で、「地域の自立」は必要不可欠です。住民一人一人が地域をより良くするための方策を考え、地域で組織した住民自治組織を通じ行政に対して働きかけるなど、行動（アクション）をおこすことで「地域の自立」は図れます。

また行政側は、自治基本条例を頂点とした条例体系の整備や地域づくり活動を実践している諸団体への支援などを通じ、地域住民と一体となってまちづくりを推進していかねばなりません。

本農村振興基本計画においても、4つのテーマ「人を育む視点」「緑を継承する視点」「食材天国を目指す視点」「水の郷を築く視点」を掲げ、農村地域の住民と協働で『これからの農村』への進化に向けての地域づくりを進められるよう、様々な施策を講じていきます。

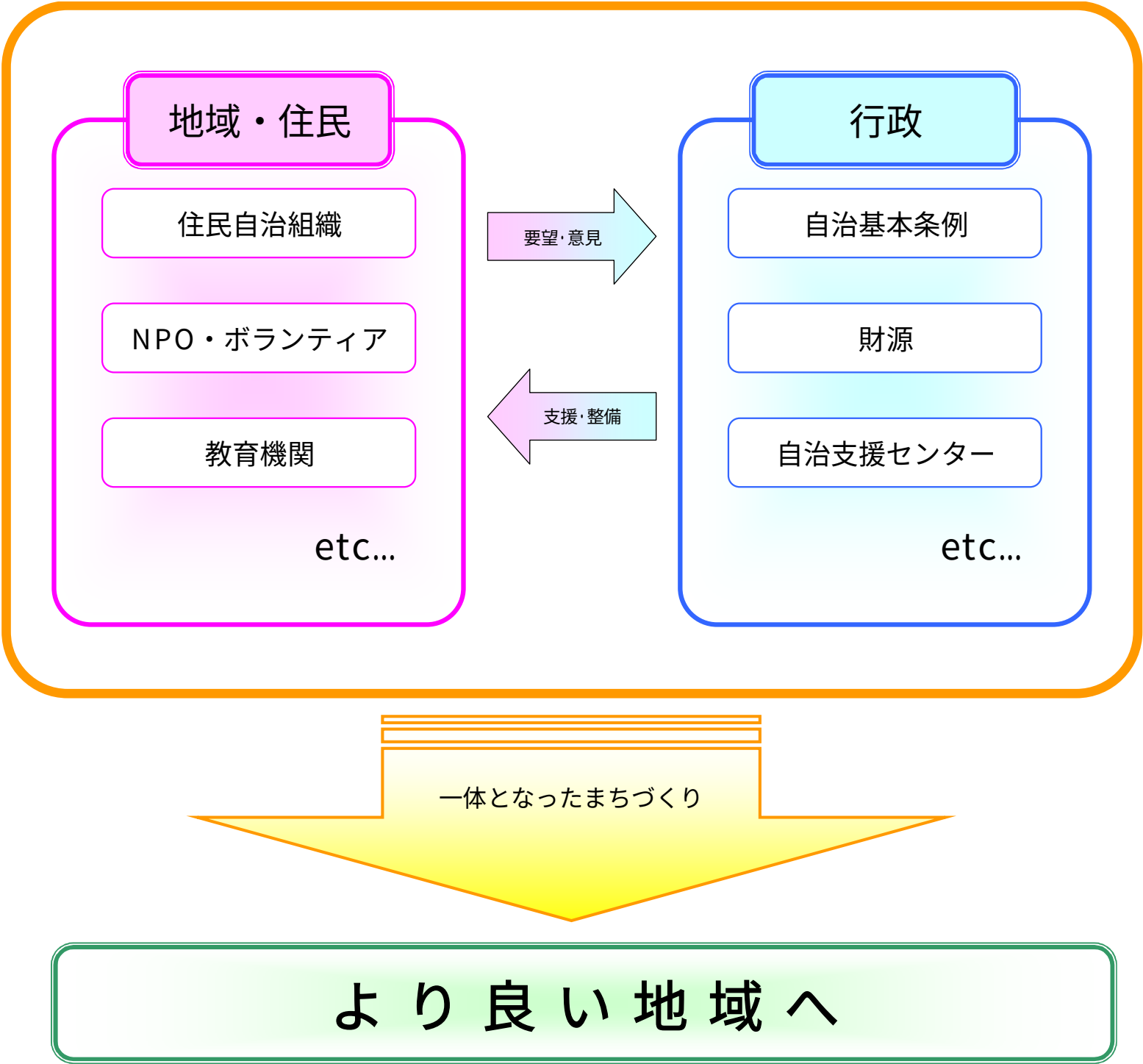


図 4.4-1 地域におけるまちづくりのための体系図